

第2回

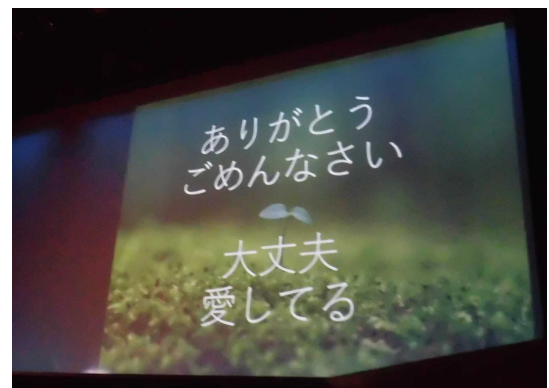
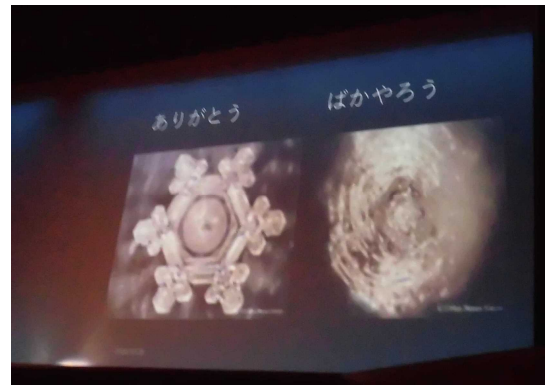
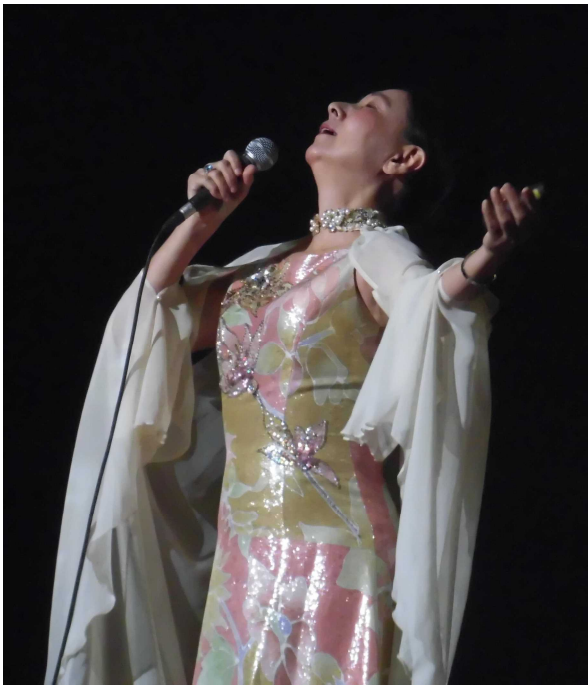
「生かされた命に感謝して」

サウンドセラピーコンサート

令和2年10月25日(日)

講師：サウンドセラピスト **Aika** はしもと けいこ 橋本 恵子 氏

サウンドセラピーとは、魂に響く歌声を特徴とする癒しの音楽である。講師は神戸淡路島大震災のトラウマで癌を患い、歌手として重要な声も失った。手術以外の治療法を模索し、米国癌治療名医 M.L. ゲイナーの「音は何故（癌を）癒すか」の著述に出逢い、自らの努力でがんを克服し、サウンドセラピーを確立したことを紹介した。「有難う」という言葉によって細胞中の水が美しい波紋（凍らせると雪の結晶として現れる）を描き身体を伸び伸びさせることを体感できた。そして、東日本大震災後の福島音楽堂等での慰問活動に触れながら、自らの作詞によるジュピター、アヴェマリアなどを歌った。聴講者はその美しい歌声に心が洗われ、ふるさとの合唱で講義が締めくくられた時、感激の面持ちだった。不断に問いかける言葉として「有難う、ごめんなさい、大丈夫、愛してる」が心に残った。意義深い講座だった。（文責 川合 将義）



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・すばらしかった。ありがとうございます。声量もすごい。バックの効果もよかった。涙がとめどなく出ました。感謝、感謝です。
- ・アイカさんの歌には愛に満ちた光のエネルギーがあります。いまもめ事がありとても精神的に疲れていたのですが、アイカさんの歌を聴き、愛に包まれ、癒やされ、そしてゆるす心が芽生えます。素晴らしい市民大学講座でした。本当にありがとうございました。
- ・この大変な時期にはるばる京都からおいでいただき、ありがとうございました。70才になり、体のどこも傷めずきましたが、老化で不安がつるばかり。力強い歌声に魅了し、これからは、できる範囲で一日一日精進し、生きていこうと思いました。